

られキャラで、北条義時とは最後まで張り合うことになる武将ということで、そのキャラクターに人気が出るのではないか、と期待しています。

神奈川県は、大河ドラマを契機として様々なゆかりの地を周遊し、これまであまり知られていなかった地域の魅力も知っていただくため、広域的なプロモーションを展開していく予定です。

具体的には、12月中に大河ドラマの特設ウェブページを開設し、1月以降、周遊マップの配布やポスターの掲示を行います。特設ウェブページや周遊マップでの情報発信にあたっては、ドラマゆかりの地のみならず、その周辺の観光情報も合わせて提供することで、

三崎黒潮キンメがかながわブランドに登録！

県の地産地消の取り組み

三浦市の名産「三崎黒潮キンメ」が、「かながわブランド」に新規登録されました。「三崎黒潮キンメ」は、みうら漁業協同組合に所属する漁業者が、四国沖から紀伊半島沖にかけての黒潮に沿って形成された漁場で漁獲した大型で脂の乗ったキンメダイです。魚が凍らない0℃前後で保冷して鮮度を保ちながら、衛生管理が行き届いた三崎沿岸卸売市場に水揚げされます。

かながわブランドは、地産地消の推進のため、生産・出荷基準を守って一定の品質を満たした県内の農林

周辺地域を含めた周遊を促進します。また、県内の観光ボランティアガイド団体と連携して、ドラマゆかりの地にまつわる逸話や見どころ等についてコラム記事を作成し、ウェブページに掲載するなど地域の歴史や文化についても発信していく。さらに、来年二月に「鎌倉幕府ゆかりの地」編、三月に「鎌倉時代相模武士たちの足跡編」と題して、専門家の解説を交えながら、鎌倉幕府ゆかりの地等を巡るオンラインツアーを実施します。県内にあるドラマゆかりの地をはじめ観光コンテンツの魅力をしっかりPRし、周遊観光を促すことで、県内経済の活性化に繋げていきたい、と黒岩祐治知事も意気込みを語っていました。



水産物や加工品を登録するもので、11月4日現在73品目127品登録されています。



まちは、皆さんの声によってつくられます。県政に皆さんの声をお届けします。 FAX: 046 (876) 8708

三浦への思いやご意見を書いて上記FAX番号まで送信下さい!



昭和48年（1973年）生
1996年 早稲田大学教育学部 卒業
1996年 凸版印刷株式会社 入社
2001年 有限会社丸石製作所 入社
2011年 (公社)三浦青年会議所 第50代理事長
2013年 三浦市議会議員（一期）
2015年 神奈川県議会議員 初当選
2019年 二期目当選
所属：共生社会推進特別委員会 委員長
総務政策常任委員会

氏名：

住所：

電話：



再生可能エネルギーの導入促進

神奈川県議会決算特別委員会

イギリス・グラスゴーで開催されたCOP26では、気温上昇について産業革命前から「1.5度に抑えるための努力を追求する」とする成果文書を採択し、閉幕しました。国は10月22日、「第6次エネルギー基本計画」を閣議決定し、再生可能エネルギーについては、2050年における主力電源として最優先の原則の下で最大限の導入に取り組むことを明記しました。環境と経済を両立させる、新しい資本主義が求められています。神奈川県では、先進的に再生可能エネルギーの導入促進に取り組んできましたが、その状況について質疑をしました。

【石川巧質問】 神奈川県では、再生可能エネルギーの導入に対して補助事業を行っており、令和2年度の決算額は合計で1億9,126万余円、導入実績としては全て太陽光発電でした。再生可能エネルギーは太陽光以外にも、風力、水力、地熱などがありますが、本県における導入ポテンシャルについて伺います。

【エネルギー課長】 再生可能エネルギーのうち陸上風力発電については、平成24年度に京浜臨海部及び三浦半島を対象に「風力発電施設立地可能性調査」を実施したが、風が弱いなど、適地はないという結果だった。洋上風力発電については、国の研究機関であるNEDOが公開している「洋上風況マップ」によると、風が弱く水深が深いため地理的条件にも恵まれていない。また、水力発電については、新たに大規模なものを建設できる適地はなく、環境への負荷も大きいことから、新規の設置は困難な状況。地熱発電についても、導入が進んでいる大分県などと比較すると、発電するには地熱の温度が低く、条件に恵まれていない。これらに対して、太陽光発電は、設置場所の制約が少なく、本県においては、導入ポテンシャルが最も高いことから、導入を促進している。

【石川質問】 本県で導入ポтенシャルの高い太陽光発電について、まず事業所等への導入促進はどのような取組みを行っているのか？

【エネルギー課長】 太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの普及に当たっては、固定価格買取制度いわゆるFITが大きな役割を果たしてきたが、買取に伴う再生可能エネルギー発電促進賦課金という国民負担の増加や電力系統の負荷への対応が課題となっている。この課題に対して、電気を作った場所で使う、自家消費であれば、買取に伴う国民負担や電力系統の問題が生じないため、自家消費型での太陽光発電の導入を進める必要があると判断した。そこで、10kW以上の自家消費型太陽光発電を導入する事業者に対し、平成29年度から経費の一部を補助し、導入を促進している。

【石川質問】 次に、住宅への導入促進はどのような取組を行っているのか。また、その実績は？

【エネルギー課長】 国の資料によると、住宅に太陽光発電の設置を希望しない理由として最も多いのが「初期費用が高いため」となっている。そこで、初期費用の負担を軽減するため、購入希望者を募り、一括して発注することでスケールメリットを活かし、市場価格よりも安い費用で購入できる「共同購入事業」を令和元年度に開始した。しかし、市場価格より安い費用であっても、どうしても初期費用の負担が難しく、設置をあきらめている方もいると思われることから、令和2年度からは初



すべては三浦のために



期費用の負担なしで設置できる「0円ソーラー」に対する補助を開始した。「共同購入事業」の設置された実績は、令和元年度は71件、令和2年度は141件。「0円ソーラー」の令和2年度の実績は154件で、予算積算上は300件を予定していた。実績が約半分だったのは、新型コロナウイルス感染症の影響があったもの。具体的には、「0円ソーラー」による設置に対する補助の受付開始は、4月下旬頃を予定したが、コロナの影響で1か月半程度、開始が遅れたことによるもの。また、「0円ソーラー」の登録事業者は15者あったが、新型コロナウイルス感染症の影響で思うような営業ができなかったとのことで、15者のうち8者は1件も補助の申請がなかった。

【石川質問】 農地に太陽光発電を設置し、営農を続けながら太陽光による発電も行う「ソーラーシェアリング」であれば、森林伐採といったこともなく、元々の土地の利用形態を変えずに、太陽光発電の導入も促進が期待される。現在、県内ではどのくらい実績があるのか？

【農地課長】 ソーラーシェアリングは、農地法の一時転用許可が必要であり、制度化された平成25年度からこれまでの許可件数は、令和3年8月末時点で、63件、令和2年度の実績は12件。

【石川質問】 「ソーラーシェアリング」の課題と、推進に向けてどのような取組みを行っているのか伺いたい。

【エネルギー課長】 「ソーラーシェアリング」は、農業経営の改善、荒廃農地の再生利用、再生可能エネルギーの導入拡大、災害時の非常用電源としての活用が期待できるが、普及に向けては、知名度が低く、仕組みやメリットが十分に理解されていないことや、導入に当たっての手続が煩雑なことが課題であると考えている。このため、ホームページで導入事例の紹介等を行っているほか、設置に必要な手續から工事等までを登録事業者が一貫して支援する「かながわソーラーシェアリングバンク」を運用し、手續面での導入支援を行っている。また、売電を目的とした導入だと、その買取に伴う国民負担が増大することなどから、自家消費型の「ソーラーシェアリング」を補助の対象とし、財政面での導入支援を行っている。

【農地課長】 農業部門では、日照や支柱が農作業の邪魔になることを気にされるといった部分もある。農地法の一時転用手続きの制度や優良事例について、県ホームページのほか、市町村農業委員会などの農業関係機関を通じて、周知を行っている。

【石川質問】 最後に、再生可能エネルギーの導入促進について、今後、どのように取り組んでいくのか、局長に伺いたい。

【産業労働局長】 国は、脱炭素社会の実現に向けて、2030年度に、2013年度比で温室効果ガスを46%削減する目標を打ち出し、第6次エネルギー基本計画において、2030年度の電源構成で、再生可能エネルギーを、総発電電力量のうち36～38%程度見込むとした。また、企業関係では、欧米のグローバル企業に続き、日本でも、自社だけでなくサプライチェーン全体で脱炭素を目指そうという動きが広がりを見せ始め、取組が遅れる企業はサプライチェーンから外されるおそれが生じるなど、今後増え、再生可能エネルギーを導入する取組は加速するものと考えられる。特に太陽光発電は、風力発電等と比較して、スピーディーに導入できることから、改めてその普及が期待されている。また太陽光発電は、本県での導入ポテンシャルが高いものである。こうしたことから、住宅用は「共同購入事業」と「0円ソーラー」により、事業所用は、「自家消費型補助」等により導入を促進し、再生可能エネルギーの導入拡大に向けて全力で取り組んでいきたいと考えている。



三浦縦貫道路Ⅱ期北側区間開通の成果と課題

通学路の安全対策！

【石川質問】 三浦縦貫道路に並行する国道134号線は、特に休日において渋滞が著しいことで知られていますが、三浦縦貫道路が開通したことで交通状況に変化があったのでしょうか？

【竹内道路整備課長】 国道134号の交通状況の変化ですが、昨年の開通前後の国のデータを比較しますと、慢性的な渋滞が発生していた林交差点周辺では、休日の午前に国道134号を走行する車両速度が時速10キロ↑

メートルほど向上しており、三浦市の初声小学校入り口交差点においても、休日の午後で走行速度が時速10キロメートル程度向上しております。三浦縦貫道路の昨年の開通は、国道134号の交通混雑の緩和に寄与しているものと考えているところでございます。

【石川質問】 渋滞が周辺道路において緩和、軽減されるなど、地域経済の活性化に資するものと期待しておりますが、安全・安心といった観点から、防災面で期待する効果があればお伺いいたします。

【竹内課長】 三浦縦貫道路の海側には、並行して国道134号がございます。国道134号は緊急輸送道路となっておりますが、林交差点周辺などは地盤が低いことから、津波による浸水が想定されております。万一、国道134号の機能に支障が出た場合は、山側に整備した三浦縦貫道路が代替路としてその機能を担うことになり、災害対応力の強化が図られたものと考えているところでございます。

【石川質問】 災害対応力の強化、また渋滞緩和等、非常に効果がある一方で、開通区間が連絡しました市道14号、これは著しく交通量が増えました。また、先ほどの答弁で、休日の午後にはスピードが上がったという話もありますが、ここは通学路であって、地元の市民からも心配の声が上がっております。折しも千葉県八街市の通学中の交通事故を受けた初声小学校の総点検が7月に実施されまして、私も立ち会わせていただきました。開通に伴い、状況が変化した市道14号の通学路の点検結果と対策についてどうなっていますか？

【竹内課長】 市道14号の通学路の総点検結果は、対策必要箇所を2か所選定されたということを三浦市の方から伺っています。一つは初声小学校校門前で、もう一つは初声中学校付近の交差点のことでした。今後の対策ですが、初声小学校校門前では、横断歩道が

長い直線区間の中にあることから、横断歩道手前の車道部にカラー化した滑り止め舗装を行うとともに、通行車両の減速を促すための路肩部にポールを設置する予定と三浦市から聞いております。また、初声中学校付近の交差点では、横断歩行者が多いことから、横断歩道の設置を検討しているということを県警察本部から聞いております。

【石川質問】 新設された道路によって周辺環境は本当に大きく変わりますので、そういったことも御留意いただき、引き続き关心を持っていただければと思っております。昨年の開通時には、まだ国道134号の横須賀市林から三浦方面へ行くための下り線への接続道路が未開通ということありました。早く開通することを望んでいますが、この開通の見通しについてお伺いいたします。

【竹内課長】 横須賀市林の下り本線への接続道路につきましては、掘り割り構造となっておりますが、掘削工事は既に完了しております。現在、擁壁などの工事を行っているところです。引き続き、仕上げとなる舗装や案内標識などの工事を進め、令和3年度内に接続道路が開通する予定としております。

【石川要望】 多様な交流を支える道路網の整備は、その地域の利便性の向上や交通渋滞の緩和ひいては観光の振興や地域活性化など、地域経済を支える大変重要な取組です。



来年1月、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」放映開始！

県内広域的プロモーションを展開

2022年1月9日より、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が始まります。日銀の試算によれば、県内経済波及効果が260億円にも上ります。

ドラマは、源頼朝の旗揚げから鎌倉幕府の成立を経て、北条義時が権力を手中に収めるまでの過程を描く、とされており、その舞台となる神奈川県には鎌倉だけでなく、横須賀や三浦、真鶴、湯河原など多くのゆかりの地があります。

県は、これまで、ゆかりの地が所在する14市町と連携して協議会を設置し、約100か所の観光資源を発掘しました。鎌倉殿の13人の一人である和田義盛は、三浦市初声町を拠点としていて、舞台俳優の横田栄司さんが演じる予定です。

脚本家三谷幸喜さんの言葉によると、義盛は気は優しくて力持ち、みんなから愛される西郷さんみたいなまっすぐな男。でも抜けているところがあるイジ↑